

第58号 「目的意識」

NHK の人気番組に、「チコちゃんに叱られる！」という番組があります。私は毎回見ているわけではありませんが、たまたま「大人になるとあっという間に1年が過ぎるのはなぜ？」という回を見ました。チコちゃんの答えは、「人生にトキメキがなくなったから」というものでした。

解説によると、時間の感じ方は心がどのくらい動いているかが重要であり、子どもの頃は初めて体験することが多く、そのたびにトキメキを感じるから時間が長く感じられる。大人になると、生活の中にトキメキを感じる事が少なくなり、時間が短く感じられるとのことでした。ちなみに、自分の感じる時間と実際の時間が同じくらいに感じられる年齢のボーダーは19歳だそうです。

確かに、大人になるにつれてトキメキを感じなくなってきたのは事実だと思います。昔は新鮮に感じていたことが、今は当たり前に感じてしまう。よっぽどの刺激がない限り、心動かされることがない。逆に、何かに挑戦することに不安を感じ、自分から変化を求めない。私も含め、大人はいつの間にかそんな状態に陥っているのかもしれません。

幼い頃は、とにかく様々な体験をすることが仕事のようなものでした。成長するにつれて、その体験を生かした行動ができるようになります。つまり大人は、若い頃に感じたトキメキ体験を自分の経験値とし、その経験をもとに貴重な時間を有効に使っているのです。トキメキが少なくなった分、経験値を生かして目的意識を持った行動をしているはず。目的意識を持たずただボーッと過ごしている人は、自分の人生に関わる経験値を獲得する貴重なチャンスを逃していると言えるのかもしれません。

大人への成長過程にある若者には、できるだけ多くのトキメキ体験をし、それを自分の経験値にしてほしい。そのためにも、人生を左右する今しかない貴重な時間を、ただボーッと過ごすのではなく、常に高い意識を持って行動してもらいたいのです。

人生に長短の違いはありますが、時間はすべての人に平等に与えられたものです。どのようなゴールを設定し、いかに目的意識を持って行動することができるかが、人生の満足度として表れるのかもしれません。私もチコちゃんから、「ボーッと生きてんじゃねえよ！」と叱られないように頑張ります。

最後に、京セラの創業者である稲盛和夫氏の言葉を紹介します。『何でもない現象の中に素晴らしいチャンスが潜んでいます。しかし、それは強烈な目的意識を持った人の目にしか映らないものです。』